

## 近畿府県合同防災訓練に参加しました

12月5日（日）、兵庫県東播磨・淡路地域を震源とする大規模地震災害を想定した近畿府県合同防災訓練が淡路市（メイン会場）・洲本市（サテライト会場）等で実施され、兵庫県支部も医療救護訓練に参加し、災害時での動きや他機関との連携等について確認しました。

神戸赤十字病院と多可赤十字病院の救護班は、メイン会場にある合同指揮本部や医療救護所のなかで赤（重傷）エリアを担当し、消防・自衛隊など他機関と連携して、搬送されてくる傷病者の対応にあたりました。

また、自衛隊のヘリコプターで運ばれた血液を、兵庫県赤十字血液センターのスタッフが県立淡路医療センターへ緊急搬送する訓練も行われました。

淡路市メイン会場



洲本市サテライト会場の訓練には、姫路赤十字病院 DMAT が参加しました。午前中は淡路医療センター内に設置された活動拠点本部で淡路島全域の被災状況を把握し、医療ニーズに対応するための情報収集活動を担当しました。午後からは洲本市内の、病院に見たてた会場に移動して医療支援活動を行いました。

訓練には消防や日赤以外の医療チームも参加しており、お互いに協力しながら訓練に取り組むことができました。

洲本市サテライト会場

